

報第3号

球磨川くだり株式会社の経営状況について

球磨川くだり株式会社の経営の状況を説明する書類（第58期決算報告書及び第59期事業計画書）を別紙のとおり報告する。

令和2年6月1日提出

人吉市長 松岡 隼人

第 5 8 期 決算報告書
第 5 9 期 事業計画書

球磨川くんだり株式会社

人吉市下新町 3 3 3 - 1
代表取締役 瀬崎 公介

第 5 8 期

決 算 報 告 書

自 平成 3 1 年 3 月 1 日
至 令和 2 年 2 月 2 9 日

第58期 事業報告書

自 平成31年3月 1日
至 令和 2年2月29日

事業概況

第58期の事業の概況と経過をご報告申し上げます。詳細は別紙「決算報告書」をご覧ください。

当期の売上高は88,712千円（前期比101.2%）となり、1,088千円の増加となりました。主な要因は、企業イメージの刷新、予約受入れ態勢と運行スケジュールの見直し、IT活用による効率化、営業力の強化などの取り組みにより乗船客数が2,590人増加（前期：24,381人、当期：26,971人）しました。

売上原価、販管費は上記の客数増加による船頭賃金の増加と社員手当を一部売上原価に変更したことにより、それぞれ前期比で5,965千円の増加、8,389千円の減少となりました。

営業利益は上記の売上が増加したものの3,032千円の減少となり、前期比3,511千円の増加となりました。経常利益は1,570千円の赤字、構造改革費用9,936千円を特別損失として計上したことで当期純利益は11,846千円の赤字となりました。

【売上高～営業利益の前期比較】

勘定科目	H31/2期	R2/2期	増減額	前年比
売上高	87,624	88,712	1,088	101.2%
川下り	58,624	62,153	3,529	106.0%
売店	4,476	4,018	▲ 458	89.8%
ラフティング	5,886	6,536	650	111.0%
美化業務	16,511	16,004	▲ 507	96.9%
国民宿舎	0	0	0	-
レストラン	2,578	0	▲ 2,578	0.0%
売上値引高	453	0	▲ 453	0.0%
売上原価	56,123	62,088	5,965	110.6%
売上純利益（粗利）	31,501	26,623	▲ 4,878	84.5%
販管費合計	38,044	29,655	▲ 8,389	77.9%
営業利益	▲ 6,543	▲ 3,032	3,511	46.3%

遊覧船事業

当期は、目標乗船客36,000人とし、船頭16名、稼働船舶7隻での運行をいたしました。

平成27年度から運航しておりますミドルコースを「清流コース」と名称を変更し、運航時刻も統一化を図り、子供料金等の改定（3歳未満は無料及び値下げ）、最小運行人数を2名にする、冬場はこたつ船中心であったものを乗合も運行するなど、新たな顧客の獲得に力を入れ、オンライン予約やホームページ・パンフレット刷新などを行い、12月～2月の比較では、過去10年間で1番の実績をあげることができました。しかしながら、7～9月期における度重なる豪雨・台風などの天候不良による欠航（前年比2.5倍）と2月期のコロナ禍による多数のキャンセルの影響で乗船客は26,971人（前期比110.6%）にとどまりました。

ラフティング事業

ラフティングにつきましては、集客目標を1,877人と定めておりましたが、上記の遊覧船事業の理由と同様に、実績といたしましては、利用者1,057人（前期比101.5%）となりました。

その他事業

売店物品販売につきましては、川下り乗船客数は増加したものの売上4,018千円（前期比89.8%）となりました。

また、冬場の閑散期における収入確保策である美化請負事業につきましては、当期は例年規模の受注がございました。実績といたしましては16,004千円（前年比96.9%）という結果となりました。

貸借対照表

令和2年02月29日 現在

球磨川くんだり株式会社

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	9,766,139	【流動負債】	32,298,785
現 金 及 び 預 金	4,399,617	買 掛 金	252,090
売 掛 金	1,227,170	短 期 借 入 金	22,400,000
商 品	200,000	未 払 金	7,724,906
貯 蔵 品	432,533	未 払 法 人 税 等	338,500
立 替 金	356,613	未 払 消 費 税 等	963,100
前 払 費 用	1,922,798	預 り 金	620,189
短 期 貸 付 金	227,408	【固定負債】	147,723,314
未 収 入 金	1,000,000	長 期 借 入 金	139,704,314
【固定資産】	136,397,794	リ ー ス 債 務	8,019,000
有 形 固 定 資 産	128,106,361	負 債 の 部 合 計	180,022,099
建 物	83,913,218	純 資 産 の 部	
附 属 設 備	5,745,892	【株主資本】	△33,858,166
構 築 物	51,650,699	資 本 金	24,000,000
機 械 装 置	5,610,410	利 益 剰 余 金	△57,858,166
車 両 運 搬 具	11,916,222	利 益 準 備 金	4,240,000
工 具 器 具 備 品	17,468,000	そ の 他 利 益 剰 余 金	△62,098,166
船 舶	28,477,102	繰 越 利 益 剰 余 金	△62,098,166
一 括 償 却 資 産	122,500		
減 価 償 却 累 計 額	△170,301,385		
土 地	84,748,678		
建 設 仮 勘 定	1,465,025		
リ ー ス 資 産	7,290,000		
無 形 固 定 資 産	8,281,433		
電 話 加 入 権	1,023,905		
借 地 権	1,257,528		
温 泉 利 用 権	6,000,000		
投 資 そ の 他 の 資 産	10,000		
差 入 保 証 金	10,000		
資 産 の 部 合 計	146,163,933	純 資 産 の 部 合 計	△33,858,166
		負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	146,163,933

損 益 計 算 書

平成31年03月01日 ～ 令和2年02月29日

球磨川くんだり株式会社

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
川 下 り 売 上 高	62,153,800	
売 店 売 上 高	4,018,365	
ラフティング売上高	6,536,165	
美化業務売上高	16,004,001	
売 上 高 計		88,712,331
【売上原価】		
期 首 商 品 棚 卸	133,119	
当 期 商 品 仕 入	2,905,475	
期 末 商 品 棚 卸	200,000	
商 品 売 上 原 価		2,838,594
当 期 製 品 製 造 原 価	59,250,163	
製 品 売 上 原 価		59,250,163
売 上 原 価 計		62,088,757
売 上 総 利 益		26,623,574
【販売管理費】		
販 売 管 理 費 計		29,655,679
営 業 利 益		△3,032,105
【営業外収益】		
受 取 利 息	39	
写 真 取 扱 手 数 料	835,145	
雑 収 入	2,412,115	
受 取 賃 借 料	305,053	
営 業 外 収 益 計		3,552,352
【営業外費用】		
支 払 利 息	2,059,866	
雑 損 失	31,306	
営 業 外 費 用 計		2,091,172
経 常 利 益		△1,570,925
【特別損失】		
構 造 改 革 費 用	9,936,578	
特 別 損 失 計		9,936,578
税 引 前 当 期 純 利 益		△11,507,503
【法人税等】		
法人税・住民税及び事業税	338,500	
法 人 税 等 計		338,500
当 期 純 利 益		△11,846,003

第 5 9 期

事 業 計 画 書

自 令和 2 年 3 月 1 日

至 令和 3 年 2 月 2 8 日

事業計画

ご承知の通り新型コロナウイルスによる感染症が未だ収束しない状況で、本県のみならず我が国、全世界の経済に未曾有の大打撃を与えております。球磨川くんだり予約客のキャンセルが6月までで約2,500名になり、ラフティング利用の教育旅行におきましても実施時期の延期や方面変更による約650名のキャンセルが発生しております。また、利用客の状況も3月期559名、4月期82名と日を追うごとに減少し、4月6日より休業としておりました。

緊急事態宣言が間もなく解除されようとしておりますが、外国人旅行者（インバウンド）、国内旅行者いずれも新規予約が止まった状態が続いており、回復に至るまで長期間を要するという悲観的な予測も出ております。その中で秋以降のシーズンで一部教育旅行の延期と方面変更（長距離の移動を避ける為）による九州エリアへの振替の動きが出てきております。

また、近場（県内～隣県）のお客様の自粛疲れによる近距離旅行の反動需要も考えられ、5月23日より当面土日曜日限定の営業再開に踏み切ったばかりのところ です。

この様な不測の状態においては、球磨川くんだり乗船客、ラフティング利用者の来期目標を設定することは甚だ厳しい状況にあり、取締役会及び株主総会に於きましても報告することができませんでした。

今後、人吉市の宿泊者・飲食者向け乗船割引事業や観光業を立て直す為の国のGoToキャンペーン等の支援策が行われるようとしております。当社といたしましても行政等からの支援策や特例措置を最大限活用し、可能な限り経費削減を実行し且つ営業活動の再開及び新しい日常においてお客様に選んでいただける受け入れ態勢とサービスの提供に努めてまいります。

全世界規模の経済悪化の中、未曾有の危機的状態ではありますがあらゆる手段を講じ、役員並びに従業員一同、一丸となって努力を行い最大限の存続の危機を乗り越えてまいりたいと思います。

関係各位におかれましては今後ともご指導、ご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

